

東京言語研究所 集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学を研究されている方や言語学に興味をお持ちの方を対象[理論言語学講座]をはじめとして様々な講座を開講しております。〈集中講義〉は、多様な研究の一領域を集中的に学べる講座です。ぜひご参加ください。

〈演題〉 認知文法のトピックス

〈講師〉 野村 益寛（北海道大学教授）

〈日時〉 2023年3月18日(土) 10:30~16:15 (90分講義×3コマ)

19日(日) 10:30~16:15 (90分講義×3コマ)

〈講義形式〉 対面講義(先着15名)およびZOOMによるオンライン講義

※対面講義はコロナウィルス感染状況によりオンライン講義に変更になる場合がございます。

〈参加費〉 一般 12,000円

2022年度理論言語学講座受講生 9,000円



〈申込み〉 ホームページ「[申込みフォーム](#)」もしくはQRコードからお申込ください。

※ 申込み受付期間 2月3日(金)~3月13日(月)10:00AMまで

講師紹介：

北海道大学文学部・大学院文学研究院教授。専門は英語学、認知言語学、意味論。
東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了(文学修士)、カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院言語学科博士課程修了(Ph.D.)、日本女子大学文学部専任講師、北海道大学文学部准教授を経て、2014年より現職。著書に「ファンダメンタル認知言語学」、(ひつじ書房, 2014), 「英文法の考え方 — 英語学習者のための認知英文法講義」(開拓社, 2020)などがある。

○ 問合せ先

一般財団法人ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-3-21 ルーシッドスクエア新宿イースト 2階

TEL: 03-6233-0631 FAX: 03-6233-0633

E-mail: info@tokyo-gengo.gr.jp 公式サイト: <https://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

認知文法は、生成文法など主流派の言語学が立脚していた諸前提を根底から再考することから出発し、記号的文法観と使用依拠モデルの2つを基本理念として構築されてきた。この集中講義では、認知文法の輪郭を概観した後、その中心的主張のいくつかについて「なぜそのように考えるのか」とともに、「そう考えることにどのような利点があるのか」「そう考えることに問題はないか」をできるだけ具体的に検討したい。講義の構成は以下を予定している。

1. 認知文法の基礎
2. 二分法再考1：形態論と統語論
3. 二分法再考2：意味論と語用論
4. 主観性をめぐって
5. 使用依拠モデルの諸問題
6. 事例研究：日本語主要部内在型関係節

受講にあたっては、認知文法の予備知識は必要としないが、言語学および認知言語学の基礎的知識は前提とする。

18日(土)

10:30 講義—1
 12:00 講義—1終了 休憩
 13:00 講義—2
 14:30 講義—2終了 休憩
 14:45 講義—3
 16:15 講義—3終了

19日(日)

10:30 講義—4
 12:00 講義—4終了 休憩 昼食
 13:00 講義—5
 14:30 講義—5終了 休憩
 14:45 講義—6
 16:15 講義—6終了